

令和4年度

総合型地域スポーツクラブアドバイザー 活動報告（1月～3月）

総合型地域スポーツクラブ（総合型クラブ）とは、地域の人々に年齢、興味関心、技術技能レベル等に応じた様々なスポーツ機会を提供する、『多種目』『多世代』『多志向』のスポーツクラブです。福井県内には27の総合型クラブがあります。（令和4年10月現在）

クラブアドバイザーは、クラブの創設から自立・活動までを一体的にアドバイスすることを目的に活動しています。

1月

<スポーツ交流会～モルック大会～>

県総合型クラブ連絡協議会主催のスポーツ交流会が行われました。コロナ禍、大雪の影響が心配でしたが、意気込み十分に会場入りする姿を見て安心しました。

今回は、県内で活動されている「ゆるモルック協会」の皆さんにご協力いただきました。すぐにクラブでも活用できるようにルール説明、試合の進め方、モルックの楽しみ方などを教えてもらった後、クラブ対抗戦を行いました。試合は大いに盛り上がり、クラブ間の交流に繋がる時間でした。



競技を楽しむ皆さんの声が響いてました！

2月・3月

<今年度を振り返って>

今年度はコロナ禍が明けないまま、登録認証制度の開始や部活動の地域移行など、総合型クラブにとって目まぐるしい1年だったと思います。市町行政やクラブを訪ねて相談を受けたり、提案をしたりとアドバイザー業務も多岐に渡るものでした。

地域に必要とされるクラブ作りを目指して、市町の特徴を把握すること、クラブを分析し自立を促していくことは、今後も力を入れていかなければならない部分だと思っています。

コロナ禍の3年間を経て、スポーツで地域を元気にできるよう、引き続きアドバイザー業務に励もうと思います。